

協議完了時
 変更時
 工事完了時

建築物の名称 **新たな国立公文書館及び憲政記念館**

建物用途	集会所	敷地面積	16,090.00 m ²
建築物の所在地	千代田区永田町一丁目1-2	建築面積	6,466.36 m ²
地域	大丸有・永田町地域	延床面積	43,482.20 m ² : 計算対象 31,861.47 m ²
竣工日	2028年3月31日	階数	地上 3階 地下 4階
		構造	RC造, SRC造, S造

省CO2効果

<p>削減率</p> <p style="text-align: center; font-size: 24pt;">32.0 %</p> <p>優良環境建築</p> 	<p>省エネルギー基準</p> <p>基準一次エネルギー消費量 49,612.4 [GJ/年]</p> <p>設計一次エネルギー消費量 33,733.0 [GJ/年]</p> <p>BEI(設計値/基準値) 0.68</p> <p>CO2排出量</p> <p>基準値 2,431 [t-CO2・年]</p> <p>設計値 1,653 [t-CO2・年]</p> <p>削減量 778 [t-CO2・年]</p> <p>削減率 32.0 %</p> 
<p>省CO2対策の概要</p> <p>Low-E複層ガラス、外壁高断熱化により熱負荷を低減し、LED照明、高効率分散熱源等により省CO2を図った。</p> 	

省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲:全館)
- 人感センサ (範囲:トイレ、給湯室、階段、廊下)
- 明るさセンサ (範囲:執務室)
- スケジュール制御 (範囲:廊下、EVホール等)
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化
- 面的エネルギー活用**
- 地域冷暖房を導入
- 地域冷暖房を将来導入
- 既存地域冷暖房から受入
- サブプラントを設置
- 特定電気事業者等を導入
- 特定電気事業者等を将来導入
- 特定電気事業者等を受入
- 熱融通
- 電力融通
- 面的対策その他
- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他 (太陽光発電災害時電源利用)

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮